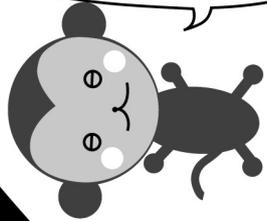


TPPと特定秘密保護法で、 私たちの暮らしはどうなる？

平成25年11月26日（火）

午後6時開場 6時半開会 8時半終了
杉並区立産業商工会館 3階 資料代 500円

カネがないがために
医者にかかれず
死なねばならんとは……



どれが遺伝子
組換えか
わからにゃーい！



グローバル豆腐

原材料：大豆
塩化マグネシウム

新世界豆腐

原材料：大豆
塩化マグネシウム

世界一豆腐

原材料：大豆
塩化マグネシウム

TPP締結後の20xx年、日本は、こうなる！？

主催

こどもの未来をまもる会・杉並

共催

プロジェクト99%

他随時追加予定

朝起きると、得体の知れぬ添加物まみれの遺伝子組み換え食品で作られた朝食を食べ、すぐに故障し二酸化炭素を大量に排出するアメリカ製の大型車で会社へ向かう。会社に着けば、外国企業からの相次ぐ訴訟の処理に奔走し、本来の業務に支障をきたして利益が上がらず、アメリカ人上司に叱責される。家に帰ってテレビをつければ、連日のように、医療費・薬代の高騰により病気や介護を我慢した低所得者層の自殺を告げるニュース。家の中を見渡せば、ほとんどが粗悪な外国製品で溢れかえり、国内産は皆無。

そんな生活を、あなたは想像できますか？

『そんな生活はありえない』と笑い飛ばしますか？

でもこれが、TPPの最悪のシナリオなのです。

—郭洋春著『TPPすぐそこに迫る亡国の罠』より抜粋—

TPPは農業だけでなく、食の安全、医療、保険、政府調達、金融、投資、環境、労働など、とても広範囲だから、必ず私たちの暮らしに影響するはず。でも、TPPで私たちの暮らしや子どもの未来がどうなるのか、国民にはよく知られていません。それなのに、政府は年内にTPPを締結し、国会中に特定秘密保護法や国家戦略特区の法制化をしようと急いでいます。TPPの暮らしへの影響を知り、一緒に横のネットワークを作っていきましょう。

講師紹介

郭 洋春（かく・やんちゅん）さん

立教大学経済学部長。専門は、開発経済学、アジア経済論、平和経済学。著書は『グロー

バリゼーションと東アジア

資本主義』他多数。今年

6月『TPPすぐそこに迫る

亡国の罠』を出版。



安田美絵（やすだ・みえ）さん

料理家・市民活動家。ルナ・オーガニック・インスティテュート（マクロビオティック料理教室 & 持続可能な食の学校）主宰。

著書『サルでもわかるTPP』、

『こんなにあぶない子宮頸がん

ワクチン』

